

対処すべき課題

経営理念

富士電機は、地球社会の良き企業市民として、
地域、顧客、パートナーとの信頼関係を深め、
誠実にその使命を果たします。

■豊かさへの貢献 ■創造への挑戦 ■自然との調和

スローガン

熱く、高く、そして優しく

経営方針

1. **エネルギー・環境**技術の革新により、
安全・安心で持続可能な社会の実現に貢献します。
2. **グローバル**で事業を拡大し、成長する企業を目指します。
3. 多様な人材の意欲を尊重し、**チーム**で総合力を発揮します。

2023年度中期経営計画 令和. Prosperity2023

■ 経営目標

売上高

1兆円

営業利益率

8%以上

■ 重要課題

成長戦略の推進

パワエレ事業、半導体事業の拡大

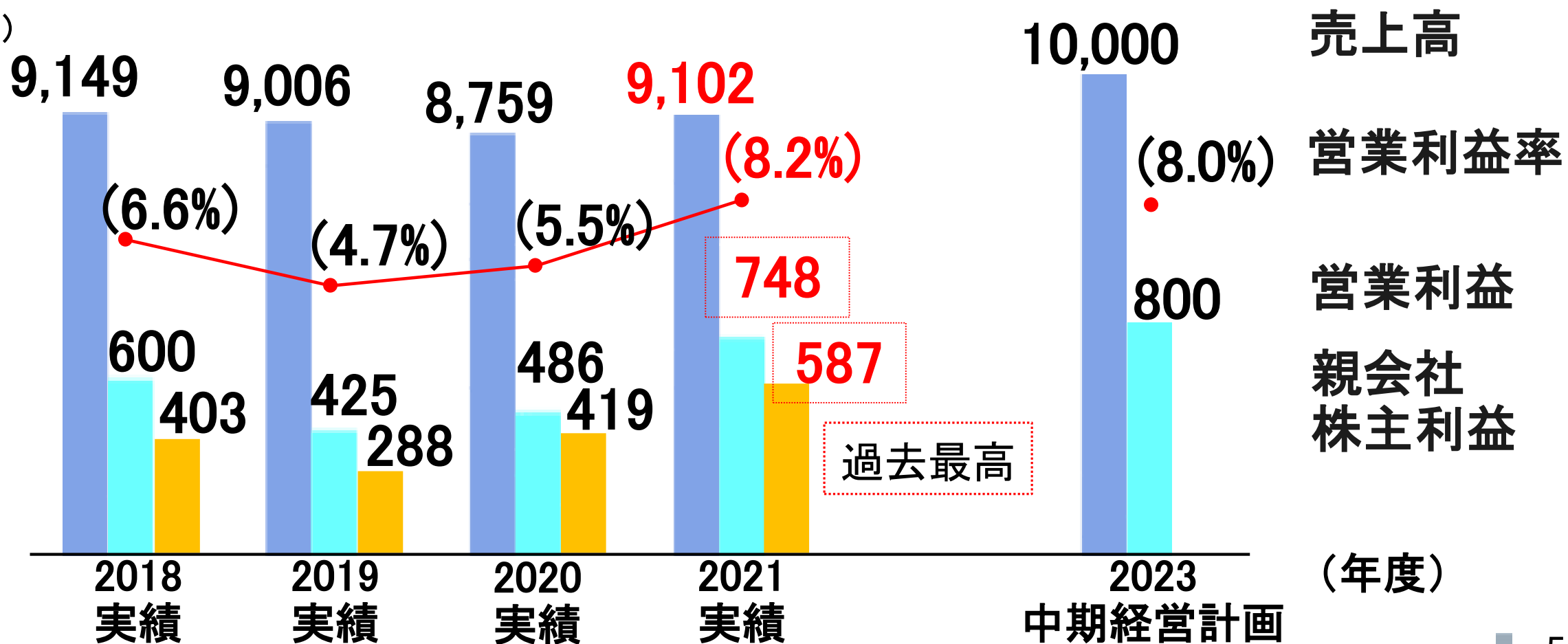
収益力の更なる強化

グローバルでものづくり力強化

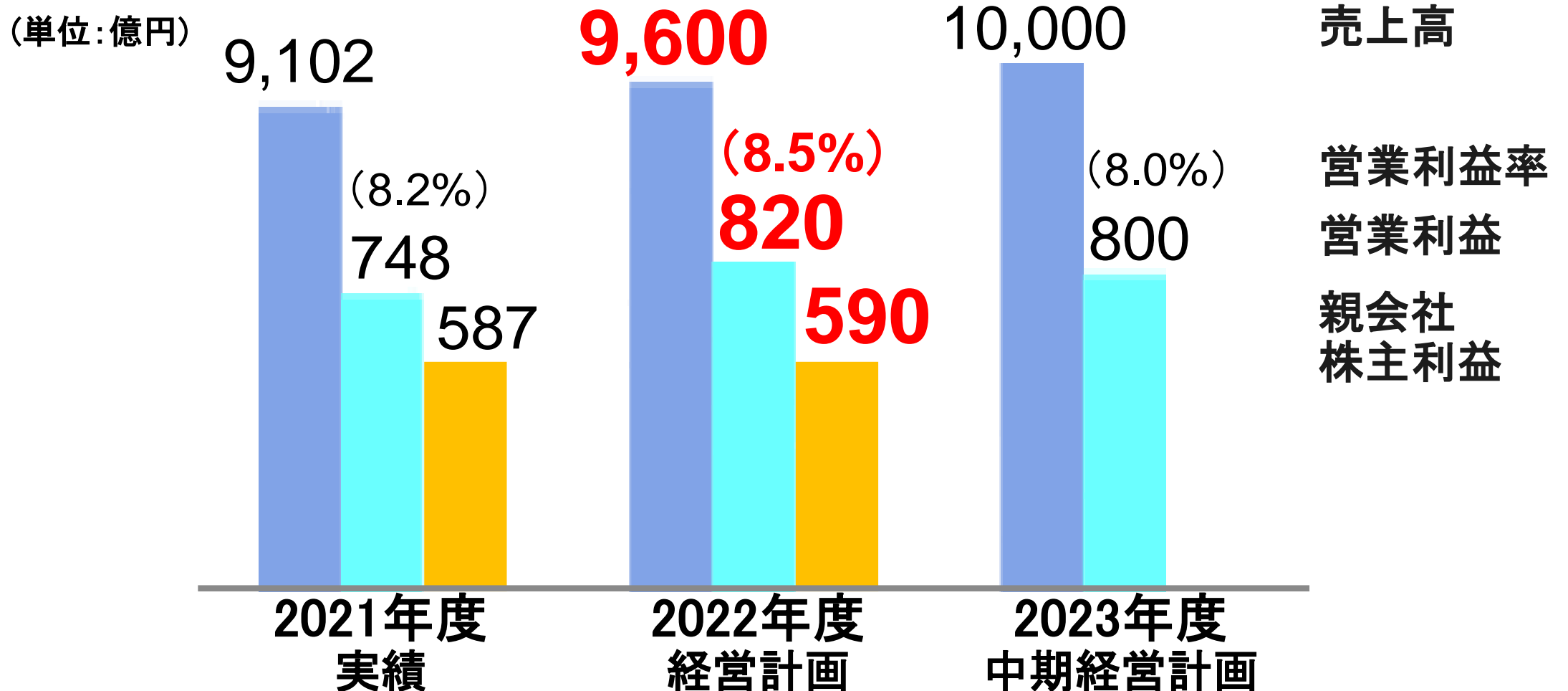
**経営基盤(ESG)の
継続的な強化**

営業利益率は、2023年度中期経営計画目標を2年前倒しで達成
 営業利益、純利益は過去最高を更新、**課題は売上高の伸長**

(単位:億円)

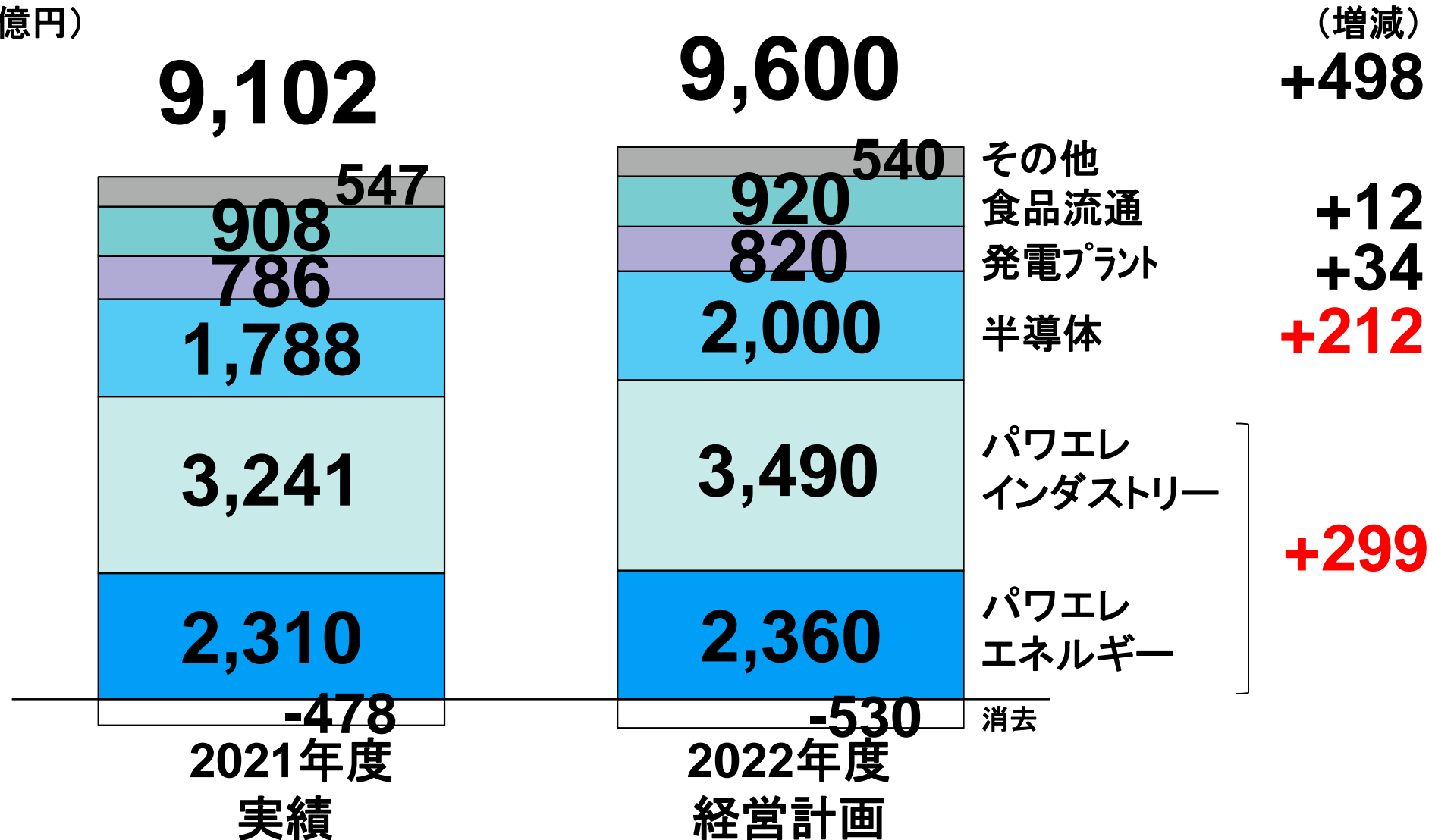


中期経営計画目標「売上高1兆円、営業利益率8%以上」を引き続き目指す 2023年度目標達成に向けた最終準備の1年



売上高(セグメント別)

(単位:億円)

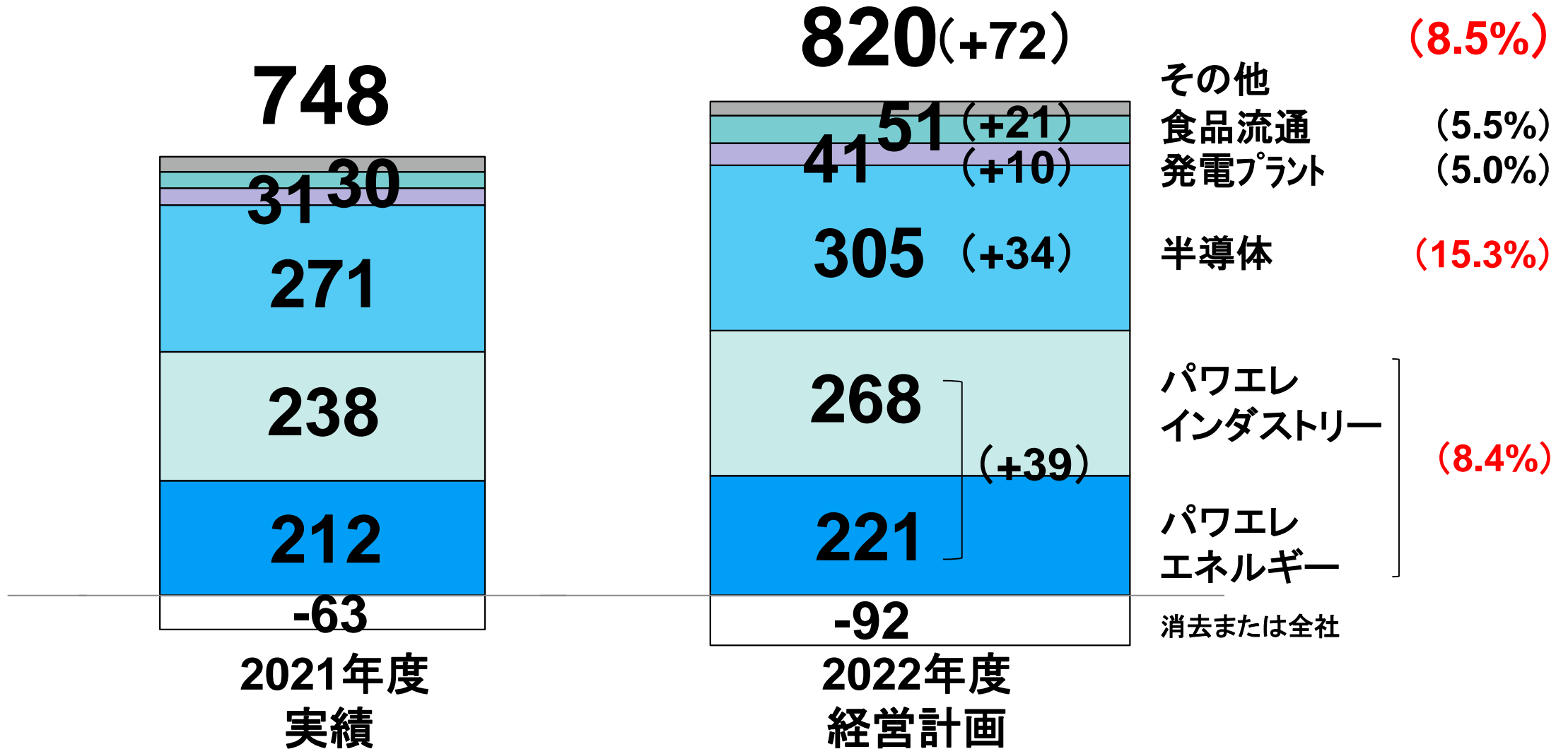


営業利益(セグメント別)

(単位:億円)

(増減)

(営業利益率)



成長戦略の推進

- パワエレ事業の拡大
- 半導体事業の更なる成長

収益力の 更なる強化

- サプライチェーンリスクの極小化
- ものづくりのデジタル改革

経営基盤(ESG) の継続的な強化

- E: 環境ビジョン2050の推進
- S: 人財への積極投資
- G: コーポレート・ガバナンスの強化

1. 成長戦略の推進

事業別重点施策

●新製品による売上拡大

●システム事業の拡大

- まるごとビジネス(データセンター、半導体)
- 脱炭素ニーズ対応の加速
- 設備劣化診断、保全業務全般の効率化支援サービス

●海外事業の拡大

- 地設、地産地消の体制強化

■脱炭素化ニーズへの対応

再エネ導入・調達を支援するトータルソリューションを提供



※エネルギーマネジメントシステム

■海外事業の拡大



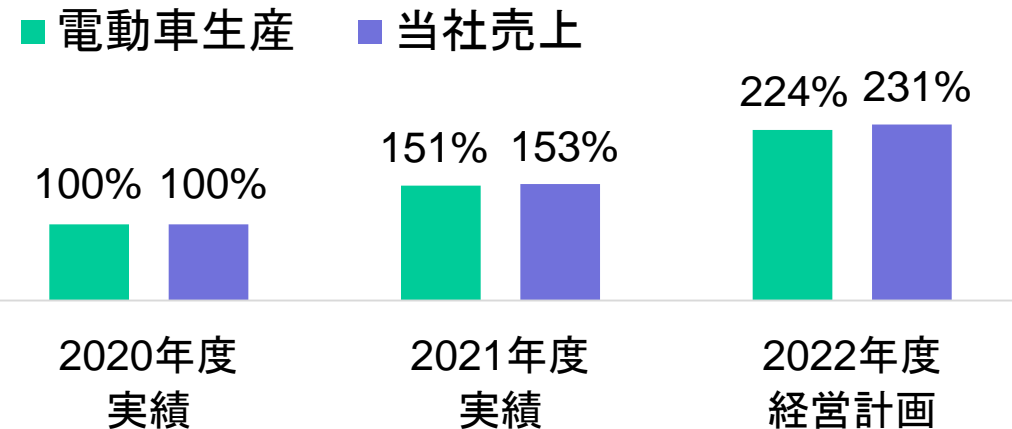
富士電機インド社

富士電機
マニュファクチャリング(タイランド)社

● 電動車需要拡大に対応した 売上拡大、生産能力増強

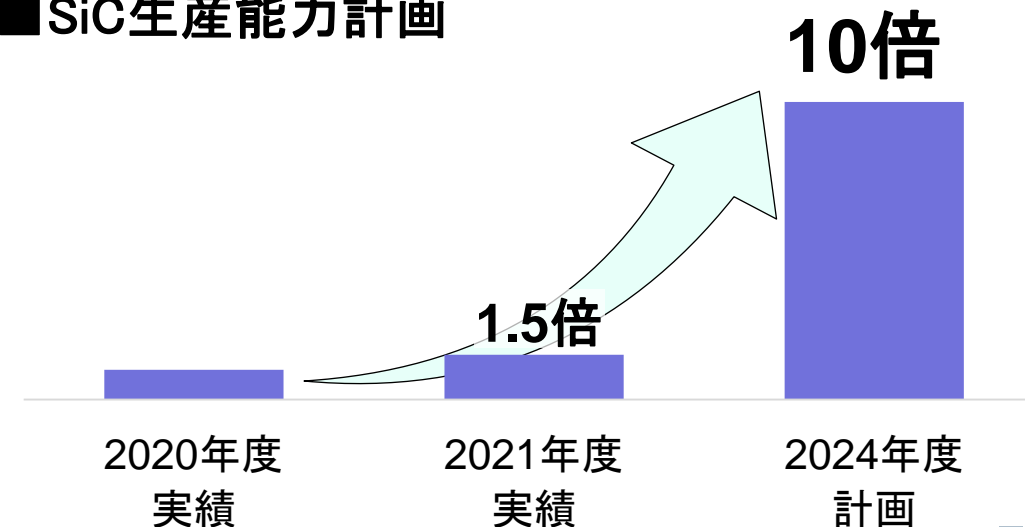
● SiC等の新製品開発 および量産体制構築 (津軽工場で2024年度SiC量産開始)

■ 電動車向けパワー半導体売上計画



※ 電動車: フルハイブリッド車および電気自動車の合計

■ SiC生産能力計画



●再生可能エネルギー事業 とサービス事業の拡大

- ー地熱発電:幅広い熱源への提案強化
- ー水力発電:サービス需要取り込み
- ー太陽光発電:マイクログリッド案件に注力
- ーサービス:ソリューション提案の強化

●プロジェクト管理の 更なる強化



地熱発電



水力発電



太陽光発電



サービス

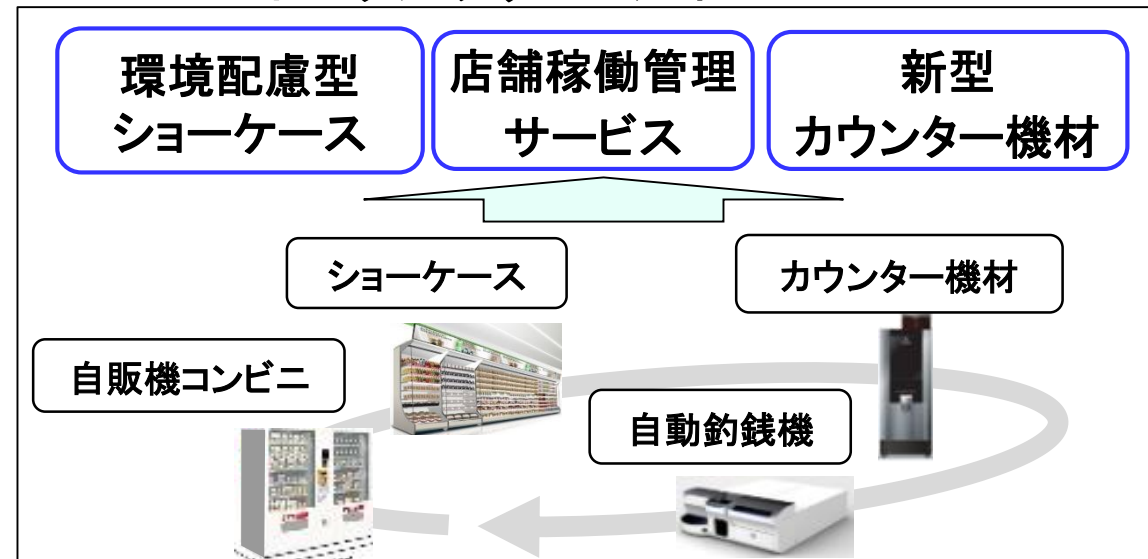
● 自動化技術・冷熱技術等を生かした新規顧客開拓

● 高付加価値商材の開発・展開による収益向上

■ 冷凍自販機・冷蔵物品自販機

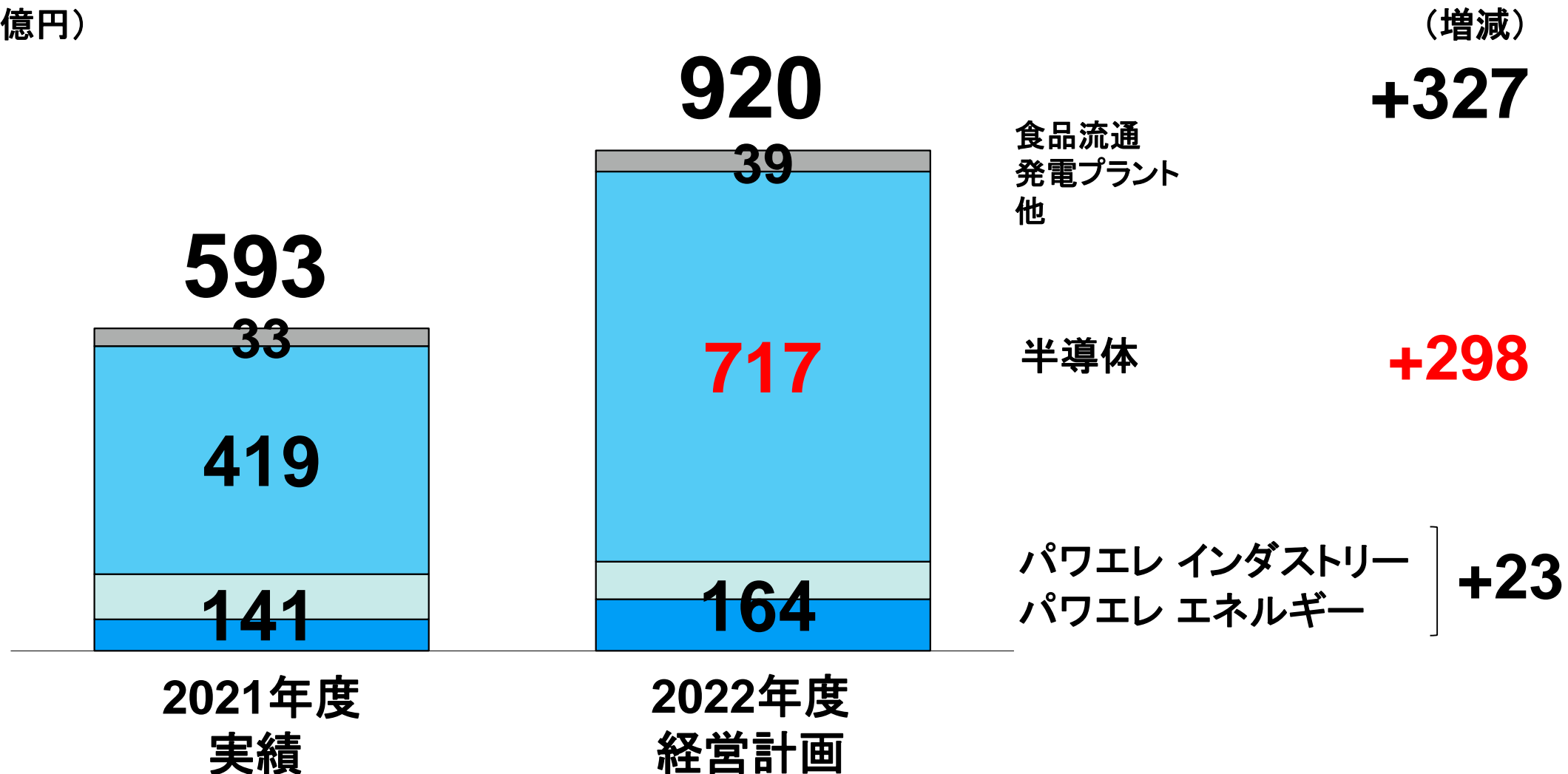


■ コンビニータルソリューション



旺盛な需要に対し、パワー半導体の生産能力増強投資を拡大

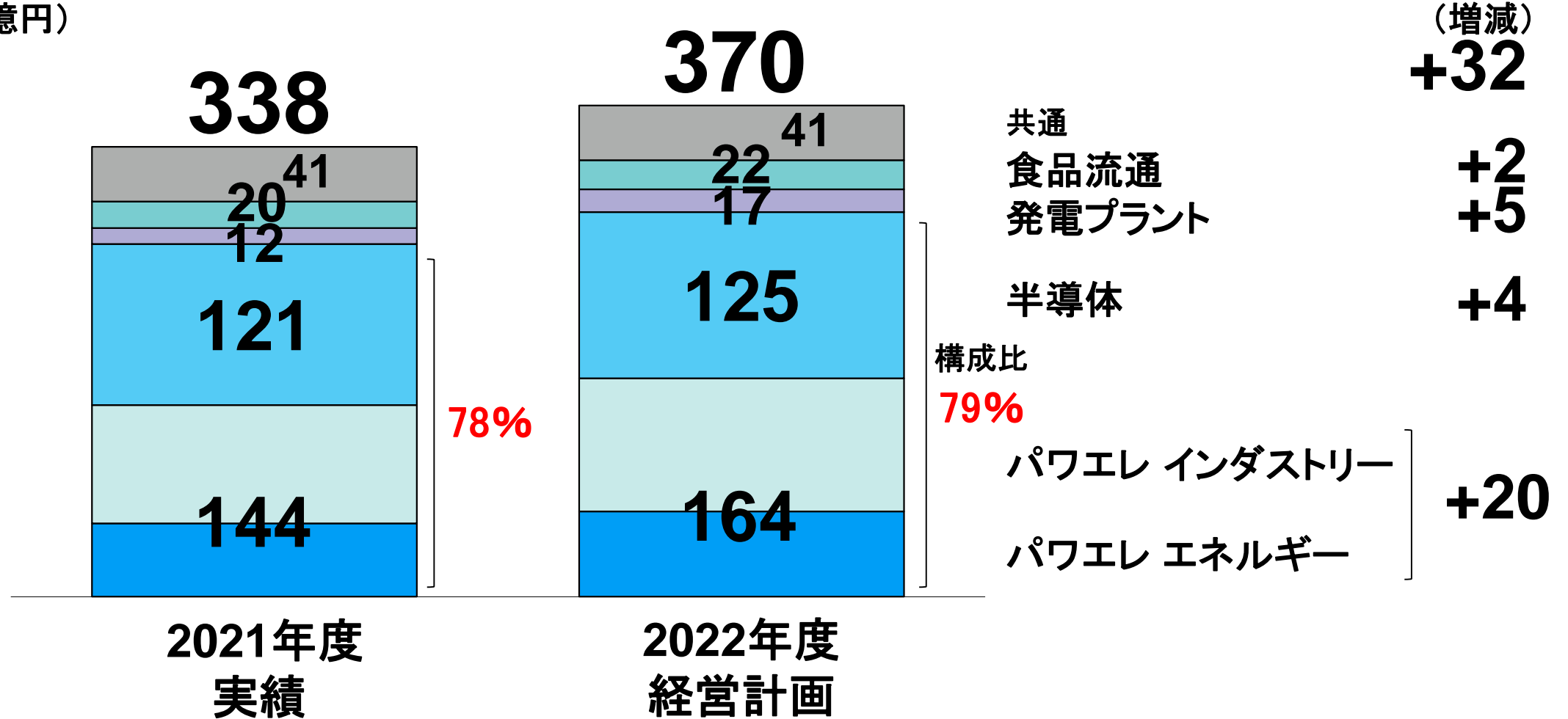
(単位:億円)



パワエレ、パワー半導体への積極的な開発投資を継続

モビリティ分野、グローバル商材、カーボンニュートラル関連商材

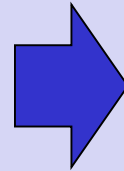
(単位:億円)



※研究開発費をテーマに応じてセグメントに分類したもので、決算短信記載の数値とは異なります。

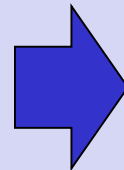
2. 収益力の更なる強化

材料供給のひっ迫



- ・代替材料の採用
- ・複数社購買の推進
- ・製品の設計変更

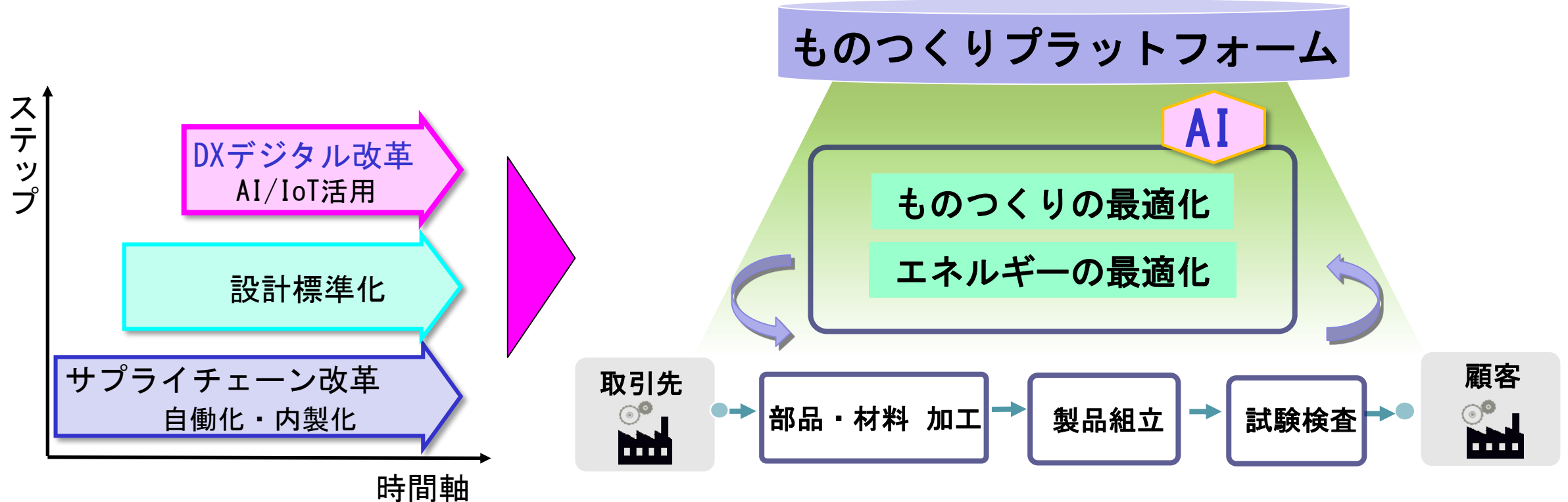
材料価格の高騰



- ・長期契約締結
- ・製品価格の見直し

デジタル・AI技術を適用拡大したものづくり改革

ものづくり改革 つながるスマート工場の実現



※DX: デジタルトランスフォーメーション

3. ESGを中核とした 経営基盤の継続的な強化

E 環境

- ・環境ビジョン2050の推進
 - 再生可能エネルギーの導入・購入

S 人財

- ・人財への投資を積極的に推進

G ガバナンス

- ・取締役会の実効性向上
- ・コンプライアンスの強化
- ・リスク対応力の強化

パワエレとパワー半導体をコアに、 エネルギーと環境のフィールドで社会価値創出を目指す

温室効果ガス排出削減への貢献

供給サイド



電力会社 発電事業者

需要サイド



工場 施設 自動車 鉄道 港湾

クリーンエネルギー の主流化

- ・再生可能エネルギー
太陽光発電、地熱発電
- ・分散電源
- ・燃料転換

エネルギー供給の 安定化・最適化

- ・受配電設備
- ・蓄電システム
- ・無停電電源装置(UPS)
- ・パワーコンディショナ

省エネ機器・ システムの普及

- ・パワエレ機器
変圧器、モータ、インバータ
- ・半導体
- ・自販機

電化率向上

- ・電動車向け
パワー半導体
- ・船舶向け
電気推進システム

カーボンニュートラル

水素

直流配電

熱商材

グリーン電力化

DXによる社会価値創出

- ・分散型電源のネットワーク化(VPP)
- ・エネルギーマネジメントの最適化

低環境負荷素材への代替

令和. Prosperity2023

売上高	1兆円
営業利益率	8%以上

外部環境変化への適応力を一層強化